



Vol.6 地上防除編

【2016.8.18】

7月31日～8月5日の6日間、無人ヘリによる地上防除が行われました。
天候に恵まれ稲が順調に育ち、今年は稲刈り時期が早まりそうです！

早朝4時過ぎより、準備と作業確認の打ち合わせをし、5時頃から散布がスタート。散布した薬剤は、『スタークルメイト液剤10』を今年も使用。ウンカ類やカメムシ類の病害虫の防除薬になります。カメムシに籾の汁を吸われると米の品質が悪くなる原因となりのため、この時期の地上防除が非常に大切になってきます。

写真のようなヘリコプターから薬剤を田んぼ全体に散布します。ヘリコプターはラジコンで操縦し、熟練の操縦士の方がリモコンを操作し圃場に薬剤を散布しています。散布後、天候にも恵まれ稲は順調に育ち、今年は、9月15日頃の刈取りになりそうです。収穫が待ち遠しくなってきました。



カメムシ類



ヒメトビウンカ



セジロウンカ



トビイロウンカ



今回散布した農薬には、上記写真の病害虫の被害を防除する効果があります。カメムシ類は、籾の汁を吸い、斑点米が生じるため、お米の販売価値が下がってしまいます。

ウンカ類は、幼虫が稲の茎の中に侵入して中を食い荒らし、稲の生長をストップさせ、成虫も茎や葉から汁を吸います。また病気を媒介したり非常に厄介な病害虫です。